

# 令和元年度 年末年始ゼロ災香川推進運動実施要綱

香川労働局

## 1 趣 旨

香川県下の労働災害は、死亡者数が令和元年10月末現在で5人と、前年同期と比較すると2人減少している一方、休業4日以上之死傷者数は3年連続で増加し、本年10月末現在においても914人で2人(0.2%)増加している状況にある。産業・就業構造の変化、高年齢労働者の増加などを背景に、第三次産業における労働災害の増加、被災者の高年齢化など、その発生状況も変化してきているが、以前として墜落・転落災害、転倒災害、はさまれ・巻き込まれ災害が高い割合で発生しており、あらゆる業種・業態に共通の課題として、日々の作業や安全衛生教育の中で注意を促し、災害を未然に防ぐ必要がある。

健康面では、働き方改革関連法の施行に伴う労働安全衛生法改正により、過重労働やメンタルヘルス不調など健康リスクの高い状態にある労働者を見逃さないため「産業医・産業保健機能の強化」が図られた。労働者の健康障害やメンタルヘルス不調を未然に防ぐとともに、気軽に相談ができる体制を整備するなど、一層の配慮が求められる。

このような状況の中、職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者双方が改めて安全衛生意識を高め、経営トップの強い決意のもとで、災害のない職場づくりに取り組むことが重要となる。

とりわけ、年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多く、転倒災害、腰痛を含んだ動作の反動・無理な動作による災害が増加する傾向にあり、更に交通死亡事故も増加している。各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業における安全確認の徹底、保護具の点検の実施、労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となる。

このような状況を踏まえ、香川労働局、各労働基準監督署、労働災害防止団体等では、令和となって初めての年末を、皆で力を合わせて無事に締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、安全・健康への思いを新たに、

## 『令和最初の年末年始 安全健康 心に誓う』

の標語で中央労働災害防止協会が主唱する「令和元年度年末年始無災害運動」と呼応し、本年度の年末年始ゼロ災香川推進運動を展開することとする。

## 2 実施期間

令和元年12月1日から令和2年1月15日までとする。

## 3 主 唱 者

香川労働局、各労働基準監督署

## 4 実 施 者

各事業場

## 5 主唱者の実施事項

- (1) リーフレット等の制作及び配布
- (2) 事業場に対する周知・啓蒙
- (3) 安全衛生パトロールの実施
- (4) 労働災害防止団体等を通じた事業場への呼びかけの実施
- (5) 報道機関、ホームページ等を通じた周知、広報の実施

## 6 事業場の実施事項

### 最重点事項

- (1) 転倒災害防止対策「STOP！転倒災害プロジェクト」の徹底
- (2) 交通労働災害防止対策の徹底

### 重点事項

- (1) 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- (2) リスクアセスメントおよび労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着
- (3) KY（危険予知）活動を活用した労働災害防止対策の徹底
- (4) 機械設備に係る定期自主検査および作業開始前点検の確実な実施
- (5) 墜落・転落災害、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- (6) 安全保護具・労働衛生保護具の点検と整備
- (7) 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- (8) 安全衛生パトロールの実施
- (9) 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の徹底
- (10) 過重労働をしない・させない職場環境づくり
- (11) 健康的な生活習慣（睡眠、飲酒、食生活等）に関する健康指導の実施
- (12) その他安全衛生意識高揚のための活動の実施